

和合

No.90
2012.12.20

題字：三浦修次



よいしょ!

主な掲載記事

和合ってどんなところ.....	2
ふるさとを想う.....	2
年中行事（行事食）.....	3
和合の里のお地蔵様.....	3
老いないために.....	4
和合の交番.....	4
亀治からのメッセージ.....	5
せんせいあのね！.....	6
私の健康・健康レシピ.....	7
地域インフォメーション.....	8

和合ってどんどこ

「あのね、おじいちゃんの畑でいっぱい野菜がとれるんだよ!」「おばあちゃんの肩たたきしてあげたの」第四幼稚園の子どもたちからはおじいちゃんおばあちゃんのお話をたくさん聞かれる。和合の里は町内でも三世同居が多い地域かと思われる。子どもたちに接していると、大勢の家族の中で目をかけ手をかけてもらい愛情たっぷりに育てられているということが分かる。都会で育つ子どもたちの何十倍も何百倍も「めっこいのう」という言葉と何人もの大人の手のぬくもりに触れてきたに違いない。そして家庭の中だけでなく、地域的にも人と人とのつながりがあり、あったかいなあと感じる地域である。



余目第四幼稚園 齋藤くるみ先生

幼稚園も“人”に助けられている。園ではボランティアを募り行事を進めているが、保護者の皆さんは真面目で大変協力的である。また、お花やザリガニ、七夕の笹竹や遊びに使う段ボールを分けてくださる方など地域の方に支えられ見守られている。なんとありがたいことだろう。

和合の里では当たり前になる田園風景は季節とともに緑から黄金色へ輝き、目を楽しませる。そしてお米の恵みを与えてくれる。ここで育つ子どもたちは、人のぬくもりをうんと心にためて生き、美しい稲穂の風景とお米の美味しさを一生忘れないと思う。

豊かな人生を送るためのねっこがしっかりと育つ。和合ってそんなすごいところだ。

ふるさとを想う

押切昭夫さん (廻館出身 横浜在住)

「ふるさと」は“いつまでも美しく居てほしい”と思うのは、すべての人達の願いである。「新生和合中学校」の新一年生として入学した私は、ふるさとを離れて50有余年、ふるさとの自然は、変わらずに私たちの帰りを待っていてくれるように感じている。しかし、各地で高齢化の進行が問題視されている中、愛する「ふるさと」もまた、高齢化が進んでいるようで、活気が見られないことに心を痛めている。

戸建て1,200世帯のわが町も、65才以上の高齢者の比率が40%に近づく状況にあり、活気が落ちてきている。“楽しく安心して住まいできる街”にするために、約8年前に激論の未到達した結論は、「高齢者である自分たちが楽しく遊んでいる姿を見せるのが一番」であった。そこで高齢者達が率先して「夏祭り」や「納涼盆踊り」、そして「公園まつり（掘り出し市）」など町内挙げてのイベントを、みんなで盛り上げることにとどまらず日々高齢のみんなが楽しめる各種スポーツのチーム（ゴルフ・テニスからゲートボール・ペタンクなど10数種のスポーツチーム）や、踊りや民謡、詩吟、コーラス、カラオケなど20以上もの芸能サークルのほか、脳の活性化のために麻雀や囲碁・将棋のチーム、さらに子育て支援チームや転倒骨折予防体操など、お年寄りが思い思いに、好きな仲間と各種サークルを作って遊んでいる。

その成果なのか、近年は若い人達が戻ってくるようになり、暇を作っては高齢者の活動に参加するようになってきた。こうして徐々に楽しい町造りが出来たと喜んでいる。

まぼの年中行事

●歳越し(十二月)

大晦日の朝、床の間の掛け軸の取り替え。松竹梅、鶴亀等を描いたためでたいものに替え、床の間に鏡の餅、神棚と仏壇には蜜柑をのせたお供え。一同年越しの膳。

毎年、お平は雑煮平と言って、油揚げ、こんにゃく、しいたけ、人参、長芋、ずいき等が入ったもの、それに納豆汁が定番である。夜はそば、新米ご飯で年取りをする。



●元旦(一月)

正月行事は新しい年のお祝いと豊作を祈る行事で、昭和十年代頃までは旧暦の正月で、二月一日が元旦であった。

大正月、小正月と呼び、農作業も一月末までは終わらなかつたので、米の脱穀調整も年内に終わるようになるにつれ、新暦(一月)で正月行事を行うようになった。



余目町の民俗年中行事より抜粋、

★納豆汁

【材料】 納豆、豆腐、きのこ(塩蔵)、芋の茎、酒粕、味噌、だし汁

【準備しておくこと】

- ・塩蔵きのこは水出しして塩抜きしておく。芋の茎は、もどしておく。
- ・納豆はすり鉢などですりつぶす。



【作り方】

- ① 材料を食べやすい大きさに切る。
- ② だし汁に、きのこ、芋の茎、酒粕を入れて火にかける。
- ③ 材料に火が通ったら、豆腐、味噌を入れて味を整える。
- ④ 最後にすりつぶした納豆を入れて火を止める。

～大和の行事食より～

和合の里のお地蔵様

古関編

〔語り手〕長谷部修一さん
〔聞き手〕富 樫



「慶長十七年、時の領主最上義光の家臣、北楯大学利長が庄内平野の開墾は水利にありと大堰を開削する際、古関地内に到り、堰地より地蔵尊像出土し、夢枕のお告げにより己の守り本尊としてこの地に祀る」と古来からの言い伝えがあると云われていた。

昭和三十四年、国道拡幅に伴い御堂前にあった樺と松の幕樹齡から推しても四百年近い歴史が推定される。

神は運命と同じく、目に見えない超越的な存在であるだけに、信じる者には存在し、信じない者には存在しないもので、洋の東西・人種・賢愚に関わらず信者のあとを絶たない事は、神の偉大さを物語っている。

当地蔵尊は何地蔵かは判らないが延命地蔵として信仰する人、安産地蔵として講を作る若妻、水難・交通の安全を願う人いろいろであります。古関の守り地蔵として親しまれて今日に至っている。



イラスト：工藤昭子

老いないために!!

ウマイ話にはワナがあります!

【おもな問題商法】

- ①点検商法：「無料で点検」と言って、「〇〇が腐っている（良くない）」と工事させる。
- ②利殖商法：「値上がり確実」「必ず儲かる」と言って、出資話を持ち掛け勧誘。
- ③当選商法：「懸賞に当選した」とダイレクトメール送付し、手数料を支払わせる。
- ④かたり商法：〇〇機関の職員をよそおい、商品やサービスを契約させる。
- ⑤内職商法：「〇〇で高収入」などと勧誘し、高額な教材などを売りつける。
- ⑥キャッチセールス：路上で「アンケートに答えて」と呼びとめ、商品等を契約。
- ⑦マルチ商法：商品を買って会員となり、他の人を入会させれば紹介料が入る商法。



【周囲の方の気付きのポイント】

- ①見慣れない段ボールや新しい商品がある。
- ②見慣れない人（業者）が出入りしている。
- ③電話に困っている（怯えている）ようだ……。
- ④入金を督促する郵便物がきている……。



※「〇〇さん どうされたんですか?」「〇〇さん 何かお困りですか?」と一声かけて!

あきらめず、勇気を出して相談しましょう!

- | | |
|--|--|
| ◎庄内町地域包括支援センター
高齢者の介護相談・心配事などお気軽に
ご相談ください
介護センターほほえみ内…電話45-1030
立川サブセンター……………電話51-2505 | ◎庄内警察署…電話45-0110
◎庄内消費生活センター
(三川町 庄内総合支庁内)
電話0235-66-5451 |
|--|--|

和合の交番



年末における犯罪及び事故の防止

年末は、人やお金の動きが活発となり、様々な犯罪や事故の発生が懸念されます。

警察では、こうした犯罪などを未然に防止するため、より多くの警察官が街頭活動を展開する「年末特別警戒」を実施しています。

みんなで明るい新年を迎えるため、地域や職場ぐるみで次のことに気をつけましょう。

少年の非行防止と犯罪被害防止

- 万引きや自転車盗は「窃盗罪」となります。軽い犯罪ではありません。
- 積雪で自転車が乗れなくなった場合は自宅に保管しましょう。
- インターネット等のサイトでは危険なものがあるので、フィルタリング利用をしましょう。



亀治からのメッセージ

亀ノ尾の里資料館

●企画展「清河八郎記念館収蔵品展～清河八郎没後150年を振り返る～」

今年も残すところわずかとなりました。亀ノ尾の里資料館では、年明け1月12日(土)より開催する企画展の準備を進めています。

この企画展は、昨年の「庄内町の文化財展Ⅴ」で清河八郎関係資料を公開したところ、大変好評だったことから、今年も清河八郎記念館の冬期休館中にご協力いただき実現するものです。今回の展示は、これまで調査した資料700点の中から指定文化財にとどまらず、八郎が生まれ育った環境や思想、行動からその人物像を見つめ、没後150年を振り返るものです。

町のホームページにリーフレットを掲載しています。足元の悪い時期ではありますが、この機会にぜひ資料館にお立ち寄りください。



- ◆ 期 間：平成25年1月12日(土)～2月17日(日)
- ◆ 時 間：午前9時00分～午後9時00分
- ◆ 入館料：無 料
- ◆ 休館日：1月28日(月)
- ◆ ギャラリートーク：平成25年1月22日(火) 午後1時30分～
講 師：財団法人清河八郎記念館 館長 廣田幸記氏

●また来てね!!

今年も小学校からたくさん子どもたちが資料館に来てくれました。庄内町の小学3～6年生は、「わたしたちの庄内町」という副読本を



資料に昔の道具や北楯大堰・吉田堰に関する歴史、米作りなどを学んでいます。資料館に来た子どもたちは、昔の道具調べや道具の使い方クイズをしたり、彦作堰絵図について調べたりしながら、昔の

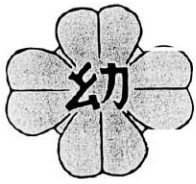


庄内町の様子について学習します。時には高度な質問(難問・珍問)があり、私も一緒に勉強!! それでも「楽しかった!!」「また来たいです。」という声に資料館を身近に感じてもらえるとうれしいです。これからも、サポートしていきたいと思います。

亀治の目

稲はすごい。稲穂は、米として私たちの主食となり、脱穀後のわらは捨てる場所がない。はき物(わらじ・草履・くつ)、着る物(みの・てっけし)、敷物(むしろ)、かばん(てんご)、袋(かます)、ふとん(こもじぶとん)、縄など、人の手で様々な日用品へと生まれ変わる。そして次の稲を育てるための堆肥となり、また米を実らせるのだ。

今は、コンバインで刈り取り、わらはめずらしくなったが、このぬくもりのあるわらの文化を大切にしたい。



よつぱっこ通信 第四幼稚園

せんせい、あめね!

～絵本は楽しいよ! 読み聞かせは楽しいよ! 読み聞かせボランティア募集中～

秋にはお話会を開いている。読書の秋にちなんで、いつも楽しんでいる絵本の時間を園の子ども達もみんな楽しんで時間を作っている。

いつもは担任の先生から絵本をいっぱい読み聞かせをしてもらっているが、お話会は、担任の先生以外のいろいろな先生や読み聞かせ隊のボランティアのお母さん達の、いろいろな声で、いろいろなお話の読み聞かせを楽しむ日。

お話会の日は、給食を食べ終わった頃、カランカランカランと昔ながらの鐘が鳴り「お話会が始まるよ～」とお知らせの声が聞こえる。すると、大急ぎで絵本の部屋に集まってくる子ども達。「待って待って僕も行く」と、歯磨きを大急ぎで済ませてくる子や「今日は何かな?」と友達と話しながら集まってくる子。忍者になりきって遊んでいた子も忍者の格好のまま駆けてくる。

子どもたちは本当に絵本が、お話しが大好き。ボランティアのお母さんたちは子ども達の真剣なキラキラ輝いている瞳に見つめられ「緊張して、ドキドキした!」と言っていたが、子ども達はお母さんた



ちの声に引き込まれていた。「何を读もうかな」と絵本選びからお母さんたちもワクワクしているようだ。子どものためはもちろんだが、大人の私たち、読み手も絵本を通して子ども達とワクワク感を一緒に共有させてもらっている。とっても素敵な有意義な時間だ。

子ども達の瞳に見つめられてみませんか。きっとやみつきになりますよ。

読み聞かせ隊のボランティアは、地域の方も大歓迎! お祖父ちゃん、お祖母ちゃん達も大歓迎です!

～四小 スポレク2012～

第四小学校

児童会の運営委員が中心となり行われた“スポレク2012”。1年生から6年生まで6組編成で、しっぽ取りや騎馬戦、ボール送りなど、各組がひとつとなり優勝を目指した。

チームカラーのビニールテープをしっぽの代わりにし、スタートの合図とともに走り出す。同じチームが両側からねらいをさだめての挟みうち攻撃に、悔しがるチームもあった。それぞれが作戦を立ててひとつの目標に向かっていった。応援に来ていた保護者からも歓声が飛び交っていた。

応援合戦では6年生の団長の掛け声とともに各組いろいろなリズムや替え歌で、元気な声が響きわたった。

寒さにも負けずに広い体育館を走り回る子どもたちの表情は、笑顔とパワーにあふれていた。



私の健康

土田善男さん (堤新田)



介護施設が年々増設され、それらのサービスカーの往来も多くなっている現状を見るにつけ、つくづく健康の有難さが痛切に感じられるところである。私は町健診には必ず出向いて該当する全検査を受診し、健康チェックに留意している。

十数年前に心臓の手術を行い、それ以来過激な運動を控え、今では自家菜園づくりと大菊(三本立)の栽培を続けている。華麗に咲き誇る「国華」を育てる事が私の健康を保つ一因であると思っている。健全なサシ芽を確保する為の親株の管理から始まり、培養土の作成、サシ芽、鉢植、中鉢への移植、大鉢(九号鉢)への定植と、一喜一憂しながら年間を通じて計画、実施し又反省を怠らずに栽培しているが、秋の花の色づく頃になると春からの苦勞も喜びに変わる季節を迎えるのである。又菊友との技術的交流も楽しみのひとつである。

心身共に健全な生活を送りたいと思うのは誰しも望むところであるが、老後を楽しみながら過ごすには何らか好きなものを見出し、無理なくそれを続けて行く事が大切だろうと思う。

今生きている事に感謝し、自分の出来る限り社会の一員であるとの自覚を失わず、他人の迷惑にならない生き方を心掛けて日々を過ごして行きたいものと念じて止まない。

健康レシピ

～発酵なしのナンと キーマカレー～



◎材料 (6人分)

強力粉	150g	} A
薄力粉	150g	
砂糖	大さじ1と1/2	
塩	小さじ1/2	
ベーキングパウダー	大さじ1	
水	180cc	}
オリーブオイル	大さじ1	
バター	少々	

ナン ◎作り方

- ① ボールにAを入れ、軽く混ぜ合わせる。
- ② ①に水とオリーブオイルを加えてまとまるまでこねる。
- ③ まとまった生地を6等分にする。
- ④ 手に打ち粉をして生地をぞうりの形に広げる。
- ⑤ フライパンに生地を広げて、バターを加えて中火で2分。
- ⑥ ひっくり返して弱火で2分くらい焼く。

◎材料 (6人分)

玉ねぎ	2ヶ	} A
にんにく	大さじ1	
しょうが	小さじ2	
サラダ油	小さじ2	
挽肉	300g	} B
人参	60g	
ピーマン	30g	
カレールー	40g	} C
ケチャップ	大さじ2	
ソース	小さじ2	
塩	小さじ1/2	
粉チーズ	大さじ2	

キーマカレー ◎作り方

- ① Aの材料はみじん切りにする。
- ② フライパンにサラダ油を熱しAをよく炒める。
- ③ AにB、Cの順で加えて炒め汁気がなくなるまで煮詰める。



Jr.カレッジWAGO!!の
みんなで作っておいしく楽しくでき
ました～(o)デザートにフルーツヨーグルト
が合いますよ!

地域インフォメーション!!

☆がんばる中学生☆



和合の里ふれあい交流事業のひとつとして、10/31～11/4まで第21回和合まつりが開催された。11/4の演芸フェスティバルなどに地域の一員として大きな力となった、中学生。だがしや楽校では小学生の子どもたちに優しく声を掛けては、輪投げの説明をしたり、お菓子を渡したりと、交流が見られた。地域の方々にもきちんと挨拶をし、たくさんの笑顔がこぼれていた。活動が終わっても「また、やりたい!楽しかった♪」「役に立ててよかった～」などの声も聞かれ、たくさんの楽しさや喜びを感じていたようだ。これからのみなさんの活躍を心から応援しています。

♪いらっしゃいませ～♪

11/20、幼稚園に子どもたちの手作りお店やさんが並んだ。和合大学院のおじいちゃんおばあちゃんが園長先生にもらったおこずかい、手作りの100円をにぎりしめてお買い物。おしゃれやさんでは指輪やネックレス、どんぐりなどで飾られたカップケーキなど、どのお店も大繁盛。かわいい店員さんは大喜びの様子だった。

そんな子どもたちに昔のいろいろな遊びを知ってもらおうと、コマ回しやお手玉、おはじきなどのコーナーを自由に遊んでもらった。コマのひもがうまく巻けないし、回せない!見かねてお助けマンのおじいちゃん登場。やさしく小さな手を取り、一緒になって遊んでいた。回せた時の満足した子どもたちの笑顔を見ていると、とても微笑ましくあったかい気持ちになった。



和合の森に???

寒さも一段落したある日、小学校のバス駐車場の上空を集団行動していた黒い物体!!何羽いたのかはハッキリしないが、あんな数は今まで見たことがない。機敏な飛び方にくぎ付けになってしまった。カメラを構え、シャッターチャンスと思いきや、素早い動きで居なくなってしまう。しばらく待っていたが、とうとう現れず不思議な光景だったと、目に焼き付いて離れない。あれはカラス……間違いない!!

編集後記

毎目にする風景が変わっていく。青空に映える、大好きな鳥海山や月山のうっすらと雪化粧した風景にしばらく会えない。冬の訪れと分かっていてもなんだか淋しい気持ちになる。

テレビなどで「今年も残すところ……」なんて言葉をよく耳にする。一年を振り返り「来年こそは!!」といういろいろな思いをめぐらせる。二〇一三年はどんな年になるのだろうか?あれもやってみようかな、これもいいかな……冬の厳しさに耐え、そんな事を考えながら……カウンタダウンが近づいて来た。